

**学習院 中等科
高等科**
2025年度 学校案内

GAKUSHUIN BOYS' JUNIOR HIGH SCHOOL
BOYS' SENIOR HIGH SCHOOL



Since 1877

2027年 学習院は創立150周年を迎えます



集い 出会い 研き合い

学習院中等科・高等科 科長 高城 彰 吾

学習院は歴史ある学校で、弘化4年（1847年）、京都に開かれました。明治10年（1877年）、東京・神田錦町に改めて開設され、150年近くの歳月、社会のリーダーを輩出し続けて来ました。今日、学習院は幼稚園から大学院までの学齢に応じ、その時期に身に付けるべき素養と社会に貢献する多様な個性を、一貫した理念に基づいて育てています。その理念は、「ひろい視野 たくましい創造力 ゆたかな感受性」という3つの言葉に集約され、学習院の教育を表現するものとして関係者の間で折に触れ語られています。

中等科・高等科は人格の幹を作る大切な時期を担っています。大勢の仲間が集う場で、皆さんは自分と異なる人たちの存在に気づき、それまで持ちえなかった知識に

触れることで「ひろい視野」の大切さを知りましょう。そして、新しい出会いから得られるさまざまな知識と経験を受け容れるなかで「ゆたかな感受性」が育まれていくのです。さらに、このようにして自分のものとした知識・考え方を基に、ここに集い出会った個性豊かな仲間たちと共に「たくましい創造力」をもって、それまでなかった新しい主張を創り出してゆくことが望まれています。学校は生徒が集い、出会い、研き合う場です。中等科・高等科で学んだものを糧として、その後はより専門的な知識・技能を身に付け、さらには社会の各方面に進んで、大いに活躍して欲しいと思います。多くのことを学び合い、共に3つの言葉を実践して行こうではありませんか。



CONTENTS

教育理念●P2

中等科・高等科 科長の言葉

教育方針●P4-5

中等科の教育目標・高等科の教育目標

カリキュラム●P6-9

教育の特色／教育課程（時間数）／選択別時間割例

スクールライフ●P10-11

中等科・高等科の主な年間行事・校外教育

学校施設●P12-13

中等科・高等科の施設紹介

キャンパスマップ・アクセス・歴史●P14-17

中等科・高等科へのアクセス・歴史

課外活動●P18-19

中等科・高等科の運動部・文化部・同好会

国際交流●P20-21

留学制度や国際交流について

進学●P22-23

中等科・高等科の進学状況

連携・Q&A●P24-25

生徒と教職員と家庭の連携／学習院 Q&A

INFORMATION 2025 年度●P26-27

2025 年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

教育方針

中等科の教育目標・高等科の教育目標

学習院全体の大きな教育目標は、「ひろい視野」「たくましい創造力」「ゆたかな感受性」の実現です。幼稚園から大学まで、それぞれの教育課程にあわせて、その目標実現に努力しています。



中等科の教育目標

中等科では、義務教育の過程にあって私学としての特色を出そうとしています。それはそれぞれの個性の芽を見出し、育て、開花の準備をさせることです。人はそれぞれの違った個性を持っています。しかしながら義務教育の過程において自分の個性を見つけるのはなかなか難しいものです。中等科では生徒一人ひとりに個性の芽を見つけ、育て、開花の手伝いをするにその目標を置いています。それは授業だけにとどまりません。学校行事、学年行事などの校外学習や部活動を含め学校生活全般に細かい目が行き届いています。

学習面では高等教育を見据え、基礎学力の充実に力を注いでいます。基礎学力とは、単なる基礎的な知識ではありません。すべての学問の基礎となる学力のことです。そのために英語、数学においては分割授業の時間を設け、より一層きめの細かい授業を心がけています。理科においては、単なる理科の授業ではなく、物理、化学、生物、地学、それぞれの専門の教員が、専用の施設で実験を重視した授業を展開しています。

また、豊富な運動施設を使って、色々なスポーツに取り組み、全面的な体力、技能の向上を図っています。

個性の芽を育む教育、それが中等科の教育です。



制服

海軍尉官の服装がモデルとなり、1879年(明治12年)に制服が定められました。日本で学生の制服を定めたのは学習院が最初です。

高等科の教育目標

高等科は義務教育を終えた生徒たちの集まりの場です。また、様々な目標を持った生徒たちが集まる場でもあります。そうした中であって、高等科の教育とは何かと言えば、学習院全体の三つの大きな目標の下、大いなる個性の開花に取り組む環境づくりです。中学生時代に芽生えた個性、可能性の芽を存分に発揮できる環境の実現に取り組んでいます。

学習面では、生徒のより多方面への興味・関心に対応した選択科目を多く配し、その要求に応えるようにしています。そこでは大学のゼミにも劣らないアカデミック

な授業の展開があります。

密度を濃くするために少人数の教育も取り入れ、生徒の学習意欲に応じてより高度な授業が行われています。その中で、教員と生徒との直接の触れ合いがより緊密なものになっています。

外国語は英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語をそろえ、生徒が国際舞台に羽ばたける基礎を充分養えるようになっています。また、情報教育や総合的な探究の時間では生徒が自分の個性をますます発揮できるように工夫されています。

カリキュラム

教育の特色

教員は、生徒の進学はもちろん、将来の国際的な活躍の可能性まで見据えて、一人ひとりをきめ細かく指導し、あらゆる活動を通じ多くの生徒に接し、生徒を知ることを心がけています。



中・高一貫の教育

教員組織は中等科と高等科で分かれています。授業内容、指導については各教科で連絡を細やかに取り合い、組織間でスムーズな連携ができるように努めています。

中等科では、どの教科も基本的には検定教科書を使用しています。そのほか中等科独自で編纂されたテキスト（国語、数学）、英米で出版されたテキスト・DVD（英

語）、手作りプリント、資料集、問題集などにより、意識した先取り教育は行いませんが、自然な形で高校の授業内容に踏み込んだものとなっています。

少人数教育

数学では各学年週2～3時間、英語では各学年週4～5時間を1クラス二分割の少人数で授業を行っています。さらに英会話では20名前後の少人数クラスを外国



人と日本人の二人の教員が担当しています。数学は3年で、英語は全学年で習熟度別分割を行っています。

高等科では、各教員がその個性を発揮して、教科書の枠にとらわれず、高度な授業が展開されています。英語、数学では各学年で1クラス二分割の少人数授業を行います。また2・3年では、少人数の豊富な選択科目が用意されています。特に2年の総合選択は、教科枠を越えた多彩な講座が開かれています（8・9ページ表参照）。

●2024年度 中等科・高等科生徒数 2024年4月現在

		中等科		高等科	
		クラス	人数	クラス	人数
学年	1年	5	202	5	209
	2年	5	196	5	194
	3年	5	190	5	190
合計		15	588	15	593

※高等科1、2年生には、2024年4月現在留学中の生徒を、出国時の学年に含めています。

カリキュラム

教育課程(時間数)／選択別時間割例

中等科、高等科6年間の学習がどのように進んでいくか、大まかな流れを紹介します。文部科学省の定める学習指導要領に基づきつつも、本校における独自性が盛り込まれています。

教育課程（時間数）																	
		週あたりの時数		5	10	15	20	25	30	34							
中	1	国語 読解・表現 習字			社会 地理 歴史		数学 代数 幾何		理科 物理 化学 生物 地学		英語 リーダー・会話・LL		音楽	美術	技術・家庭	保健体育	道徳
	2	国語 読解・表現・基礎能力			社会 地理 歴史		数学 代数 幾何		理科 物理 化学 生物 地学		英語 リーダー・会話・演習・LL		音楽	美術	技術・家庭	保健体育	道徳
	3	国語 読解・表現・基礎能力			社会 歴史 公民		数学 代数 幾何		理科 物理 化学 生物 地学		英語 リーダー・会話・演習・選択		音楽	美術	技術・家庭	保健体育	道徳
高	1	国語 現代の国語／言語文化		社会 地理総合／世界史・総合		数学 数学共通／数学β		理科 物理／化学／生物／地学		英語			情報1	家庭基礎	保健体育	道徳	
	2	国語 現代文／古文／漢文		社会 日本史／公共		数学α 数学β		必修選択B 数学1	理科 選択C	必修選択D	英語		芸術1	総合的な探究の時間	保健体育	道徳	
	3	国語 現代文／古文／漢文		社会 倫理	数学α 数学β		必修選択E (2科目) 数学2		必修選択E	理科 選択F	英語		自由選択	保健体育	道徳		

※高等科の教育課程は、2022年度からの新教育課程を掲載しています。
 ※高等科2年の総合選択は、この他に1単位分設けられています。
 ※高等科3年は、選択科目数によって履修・修得単位数が変わります。

●高等科2・3年《選択科目》

選択B	選択C	選択D	選択E				選択F	自由選択	芸術1
地理1 日本史1 世界史1a 世界史1b 選択C	物理1 化学1 生物1 地学1	古文1 漢文1 中国語1 独語1 仏語1 英語1a 英語1b 情報1 選択B, C	地理1 地理2 日本史1 日本史2 世界史1a 世界史1b 倫理1 政経1 社会科演習1 古文1	古文2 漢文2 小論文1 物理1 物理2-2 化学1 化学2-2 生物1 生物2-2 地学1	地学2-2 数学演習1a 数学演習1b 情報2 中国語1 中国語2 独語1 独語2 仏語1 仏語2	英会話1 英語2b	物理2-1 化学2-1 生物2-1 地学2-1	芸術1 芸術2 体育1 選択E, F	書道1 音楽1 日本画1 西洋画1 工芸1
から1	から1	から1	から1	から1	から1	から1	から0～3	から0～2	から1

選択別時間割例

●中等科1年生の時間割例（1学期）

中1	月	火	水	木	金	土
1	国語	英語 R	地理	家庭	生物	技術
2	幾何	物理	国語	保健体育	保健体育	地学
3	国語	代数	物理	代数	幾何	習字
4	保健体育（水泳）	歴史	国語	道徳（HR）	化学	地理
5	英語 R / 会話	美術*	英語 R	国語	会話 / 英語 R	
6	音楽	美術	代数	英語 LL	歴史	

* 2・3 学期は、美術の授業1時間が音楽の授業に変更になります。

●高等科3年生〔社会科学・人文科学系志望者〕の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	英論表 3	古文	社会科 演習 1	漢文	現代文
2		現代文	英 3		英論表 3	倫理
3	EC	数 α	中国語 2	英必選択	保健体育	数 α
4	HR	数 α				英 3
5		古文 2	情報 2	小論文 1	現代文	古文
6				倫理	数 α	

●高等科3年生〔理工・医歯薬系志望者〕の時間割例

高3	月	火	水	木	金	土
1	保健体育	英論表 3	古文	数 2	漢文	現代文
2		現代文	英 3		英論表 3	倫理
3	EC	数 β	化学 2	英必選択	保健体育	数 β
4	HR	数 β				英 3
5		物理 2	物理 2	現代文	古文	
6	数 2	化学 2		倫理	数 β	

■ 高等科選択授業
（高等科2・3年で実施。月5・6時限、火5・6時限、水3・4・5・6時限、木1・2時限）

■ 少人数クラス編成授業
（中等科・高等科とも数学と英語で実施）

高等科 総合選択科目 講座一覧 2024 年度

R で分析しよう
暴力の倫理学
博物館を知ろう
通史でない世界史「海から見た世界史」
写真を撮る・見る
生命科学入門
国際協力入門
Critical Reading and Discussion
声に出して覚えるドイツ語
フランス文化入門
体脂肪を燃やそう
ビジュアルから古典を学ぶ
ハンブルを学ぼう
世界遺産から学ぶ歴史・地理・言語
能楽を観る・知る・体験する
ランドスケープアーキテクチャ入門
理科系ライティング演習
石碑を読み解く

教員より



中等科
教務課長
土屋 良太

中等科の時間割には数学はありません。社会も理科もありません。数学、社会、理科の授業をやらないのではありません。数学は代数と幾何の科目に分けて授業をします。社会は地理と歴史と公民に、理科は物理と化学と生物と地学に分かれます。それぞれの科目を様々な教員が担当します。科目ごとに専門の教員が担当することで、より詳しく、わかりやすく授業を進めることができます。英語の授業は、文法を中心に全般的な内容を扱うリーダー、ネイティブの教員が担当する英会話、実践的に進める演習などに分かれます。

授業や部活動、多くの行事などを通して、友人関係を広げ、深めてください。初等科から進学してくる生徒が2～3割いますが、彼らともすぐに仲良くなれます。



高等科
教務課長
久岡 敏郎

高等科のカリキュラムは「入口は広く・探究は深く」の信念に基づき編成されています。

まず高1で国語・数学・英語はもとより、理科は物理・化学・生物・地学の4科目を履修するなど、幅広い必修科目が提供されます。そこで気づいた自分の興味関心・進路志望に合わせ、高2以降は数多くの選択科目を組み合わせ、自分だけの時間割を作ります。そこにいわゆる文系・理系の区切りはありません。高等科で物足りなければ、高3で学習院大学の授業を履修できる制度もあります。高等科のカリキュラムを使って、自分のやりたいことに思う存分打ち込んでもらいたいと思います。

スクールライフ

中等科・高等科の主な年間行事・校外教育



5月 長距離歩行(3泊4日) 中等科2年

2日目と3日目にそれぞれ約20kmの歩行を行います。班ごとに計画を立てて、富士山麓と河口湖畔を歩きます。自然散策をする中で、先生や友人と会話をし、交流を深める貴重な場ともなっています。



6月/3月 クラスマッチ

夏と春に1回ずつ、学年を越えて15クラス対抗で競技が行われます。優勝したクラスには、礼宮(あやのみや) 文仁親王(現秋篠宮殿下)より寄贈された優勝杯(礼宮杯)が授与されます。



7月 沼津游泳(希望者参加/3泊4日)

静岡県沼津市にある学習院の宿泊施設を利用して毎年7月21日～24日に臨海学校を実施しています。1年生から3年生までを対象にした希望者参加の行事です。遠泳では、4km完泳を目指しています。

沼津游泳場
沼津市島郷の海岸、沼津御用邸記念公園に隣接する白砂青松の林間に位置する、14棟3,000平方メートルの施設です。夏季には臨海教育施設として利用されるほか、大学のゼミなど年間を通して利用されています。



5月 遠足(中等科1年3年)

6月 芸術鑑賞会

9月 運動会

昭和26年に中等科を卒業された義宮(よしのみや) 正仁親王(現 常陸宮殿下)より優勝杯が寄贈され、この義宮杯を争奪する形式で行われています。毎年、各チームの3年生が下級生に競技のルールや作戦などを指導していきます。



中等科					
4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
高等科					

6月 観劇



6月 対筑波大附属高校定期戦 (附属戦)

筑波大附属高校との定期対抗戦です。その歴史は古く、日本最古の定期対抗戦と言われています。女子高等科と合同で、3校の各運動部が学校の名譽を懸けて激突！ 総合優勝は附属か？ 学習院か？ 一般生徒も応援団、チアガールと一体になって白熱する伝統の一戦です。



7月 ボート大会 高等科1年2年

埼玉県戸田オリンピックボートコースで、漕艇競技に挑戦する伝統行事。1・2年生の全員がオールを握って息を合わせます。高校の行事としては全国的にも珍しいものです。



9月 沖縄研修旅行(3泊4日) 高等科2年

平和学習と自然体験を目的とした行事です。1年生から事前学習をしっかりと行います。

10月 林間学校(3泊4日) 中等科1年

1年生が入学して最初に行う宿泊行事です。赤城山登山を中心とした体験活動を行います。都会から離れた自然豊かななかで生活し、集団生活の大切さを学びます。



10月 修学旅行(3泊4日) 中等科3年

学年ごとに生徒と教員で話し合いながら、行き先や内容を決めていきます。1年生から準備を始めている修学旅行は、中等科生活のなかで一番の思い出になります。



12月 OBと語る会

3月 スキー学校 (希望者参加／3泊4日) 中等科1年2年

斑尾高原スキー場において毎年3月19日～23日に行われています。1年生と2年生を対象にした希望者参加行事です。宿泊人数に限りがあるため、毎年抽選となる人気の行事です。



3月 ニュージーランド 短期研修 (希望者参加／9泊10日) 中等科2年

国際理解教育のための新たな試みの一つとして、平成21年度より春季休業を利用してニュージーランドの中高一貫校での短期研修プログラムを開始しました。



10月
October

11月
November

12月
December

1月
January

2月
February

3月
March

11月 院内大会(球技会)



12月 柔道納会(3年生クラス対抗)

柔道の世界的中心である講道館で行う、3年生クラス対抗行事です。黒帯を投げ飛ばす技の使い手もいます。日頃鍛錬した心技体の成長ぶりを披露し、卒業を前に連帯感を深めます。

10月 中・高等科鳳凰祭(文化祭)

文化部の出番。有志団体も多数出展し、来場者で校内はいっぱいに。留学生による母国の紹介、バンドに吹奏楽に演劇など盛りだくさんです。

2月 マラソン大会 高等科1年2年



3月 スキー教室(4泊5日) 高等科1年

北海道サホロリゾートスキー場に4泊し、各自のレベルに合わせてスキーを徹底的に練習します。

学校施設

中等科・高等科の施設紹介

学習院ではゆとりのある敷地を生かし、学校生活に必要なあらゆる施設を用意しています。
生徒一人ひとりの学ぶ心、探究する心を満たし、また伸ばす事に力をそそぎます。





10



11



12



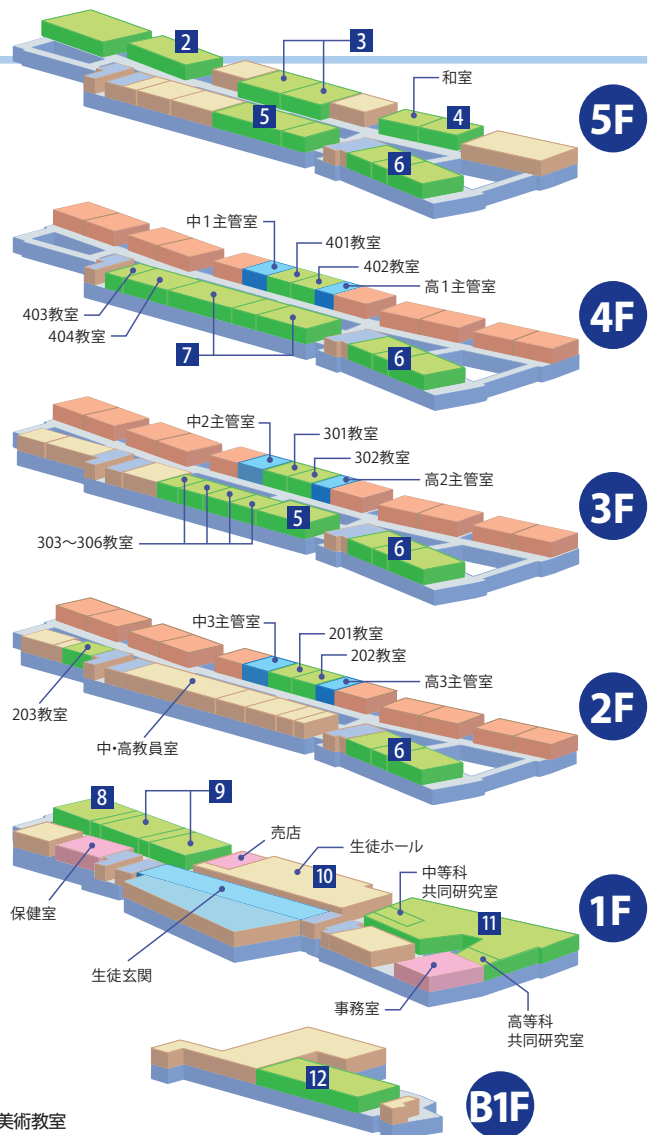
13



14



15



1 美術教室

2 音楽教室

3 501教室／502教室

大型スクリーンと各種AV機器を備えた多目的教室です。200名以上を収容できます。

4 503教室

中等科の習字と高等科の書道の授業で使用します。

5 技術・家庭教室

6 理科教室

物理、化学、生物、地学、それぞれの科目に実験室と講義室が備わり、合計8室の理科教室があります。

7 社会科教室1／2

大型スクリーン・電子黒板と各種AV機器を備えています。

8 マルチメディア教室

英語の授業や多目的な用途で利用できる教室です。

9 コンピューター教室A／B

それぞれの教室に生徒個人用 44台を配置しています。

10 生徒ホール(食堂)

250席の食券制食堂。中学1年から利用可能です。

他にも飲み物、パン、おにぎり等の自販機あり。

11 図書室

約11万冊の蔵書を誇る図書室です。雑誌・CD・DVDも充実しています。

12 標本保管室

約8千点の標本があり、理科の授業で利用しています。

13 第1体育館／第2体育館

2つの体育館があります。第1体育館の2階はウェイトトレーニング場になっています。

第2体育館の1階は温水プール(25m・6コース)、2階は体育館です。

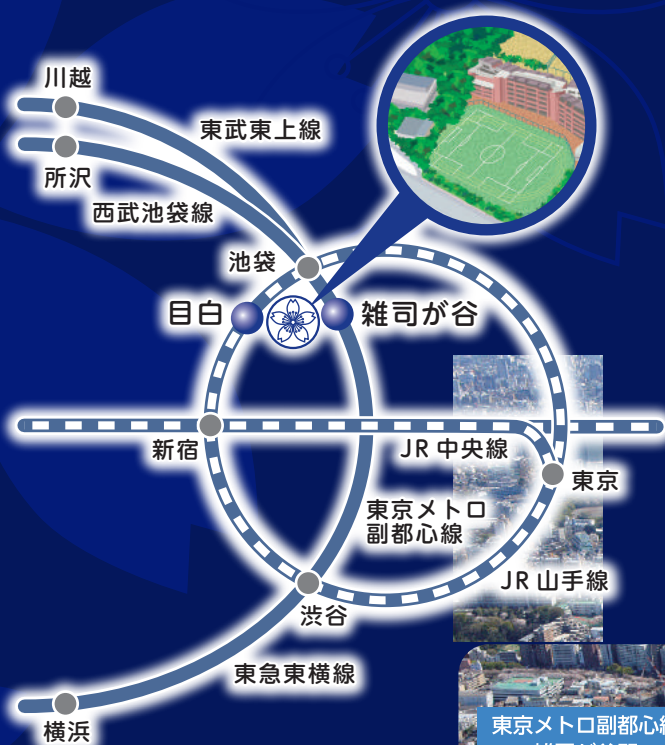
14 武道場

柔道公式試合場1面約70畳、2階は中等科運動部部室になっています。

15 第1グラウンド／第2グラウンド

第1グラウンドは300mトラックがとれる人工芝のグラウンド、第2グラウンドは土のグラウンドです。

利便性のよい都心にありながら、 豊かな緑に囲まれたキャンパスです。



最寄駅からのアクセス

JR山手線
「目白」駅より 徒歩5分

東京メトロ副都心線
「雑司が谷」駅より 徒歩5分



学習院中・高等科沿革

1847年(弘化4年)
京都御所日御門前に
学習院開講する

1849年(嘉永2年)
孝明天皇より「学習院」の勅額が
下賜され、正式名称となる

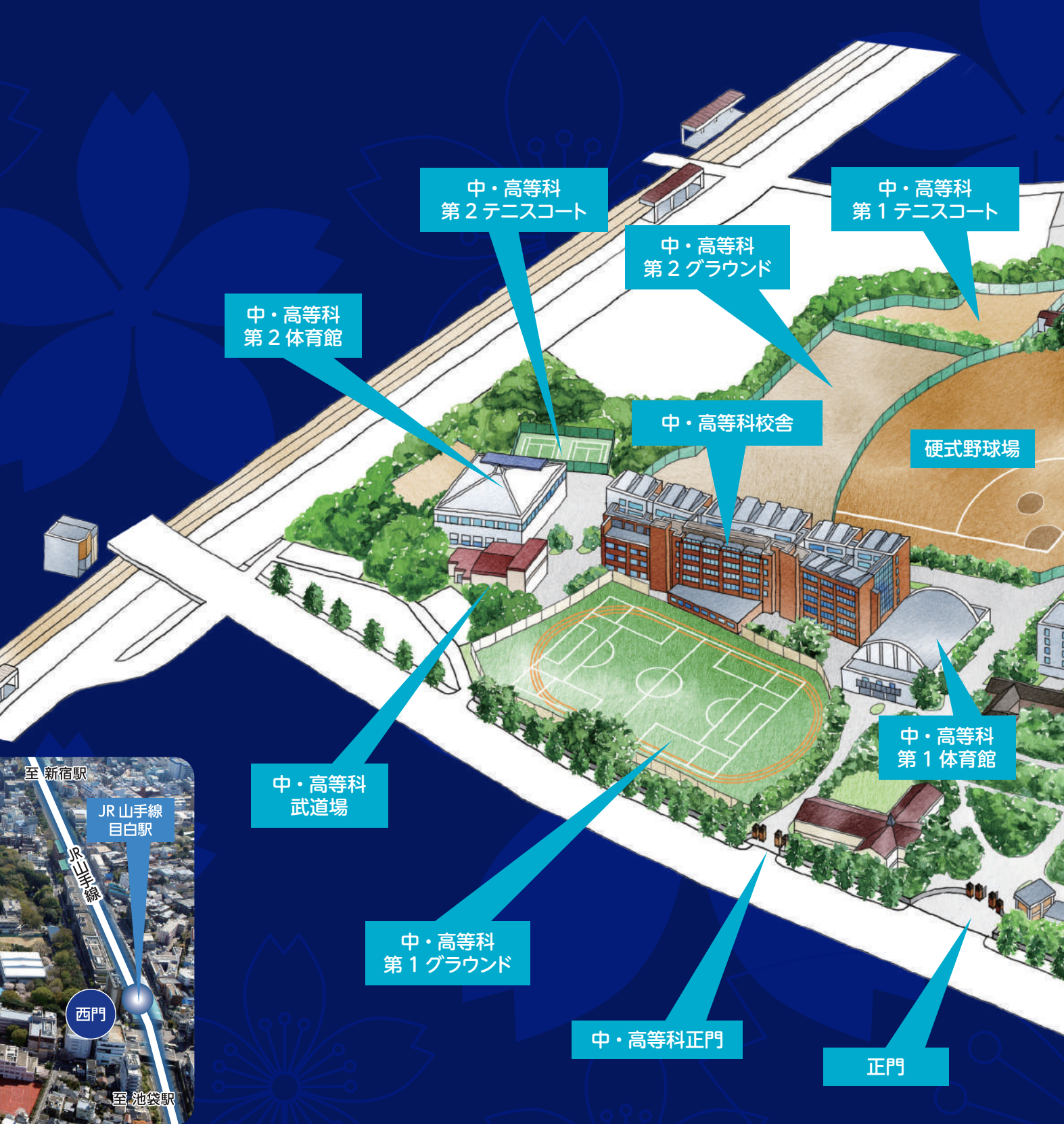
1877年(明治10年)
神田錦町に私立の華族学校が創立される
10月17日に明治天皇・皇后両陛下下親臨のもと開業式が行われる
勅諭により「学習院」の名称が定まり、後に勅額が再び下賜される
現在の学習院はこの時をもって創立としている

1885年(明治18年)
男子のみの教育を行う
こととなる(前年華族
子女のための官立学
校が新たに創立され
ることになったため)

1884年(明治17年)
宮内省所轄の官立学校となる

1919年(大正8年)
初等学科、中等学
科という名称から現
在の「初等科」、「中
等科」になる

194
財団
合体
新制



2000年		
1946年(昭和21年) 宮内省から離れて私立学校となることを決定 中等科は戦災のため目白を離れ、1、2年生が 小金井に移る	1951年(昭和26年) 学校法人学習院となる	1998年(平成10年) 中等科・高等科の新校舎が 完成する
1947年(昭和22年) 学校法人学習院による新しい経営が始まり、学習院と女子学習院は して一つの私立学校となる の中等科・女子中等科を開設し、初等科は男女共学を実施する	1977年(昭和52年) 明治10年より数えて創立100周年を迎える	2000年(平成12年) 中等科・高等科1クラス40名の 5クラス体制が整う
	1948年(昭和23年) 新制の高等科・女子高等科を開設する	1978年(昭和53年) 学習院創立百周年記念式典を挙げる

洋弓場

馬場

ゴルフ練習場

東1号館
(大学図書館)

学習院創立百周年
記念会館

西門

2010年(平成22年)
第1回中等科ニュージーランド短期研修
が行われる

2004年(平成16年)
第1グラウンドが人工芝化される

2002年(平成14年)
明治10年より数えて創立125周年を迎える
学習院創立百二十五周年記念式典を挙げる

伝統の中でおおらかに

さまざまな自分の可能性を見つけ、
豊かな個性を育むことができます。

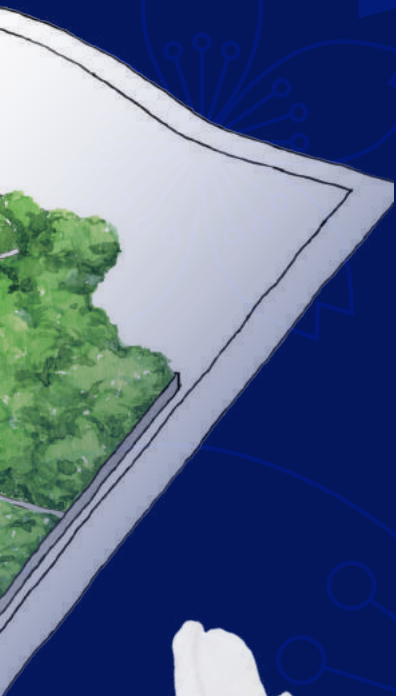
考える、

また考える、さらに考える

充実した教育環境の中で自身の考えを
深めていくことができます。

生涯の友と

のびのびとした学校生活をおくる中で、
行事やクラブ活動を通して多くの友だちを
つくることができます。



課外活動

中等科・高等科の運動部・文化部・同好会

学習院には、幼稚園から大学まで一貫した輔仁会という組織があります。輔仁会は中等科支部組織と高等科支部組織に分かれ、いずれも生徒は希望に応じて運動部・文化部・同好会に所属し、活動しています。また、生徒会活動も、代表会(中等科)・代議会(高等科)を通じて活発に行われています。



中等科

【運動部】

剣道、硬式テニス、古武道、サッカー、柔道、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、野球、ラグビー、陸上競技

【文化部】

囲碁将棋、演劇、音楽、写真、生物、地学、鉄道研究、美術、物理化学、歴史研究

【同好会】

アマチュア無線、弦楽、航空、釣

高等科

【運動部】

アーチェリー、剣道、硬式野球、ゴルフ、サッカー、山岳、柔道、水泳、スキー、漕艇、卓球、テニス、馬術、バスケットボール、バレーボール、ホッケー、ラグビー、陸上

【文化部】

演劇、化学、史学、写真、新聞、吹奏楽、生物、地学、美術、文芸

【同好会】

囲碁将棋、社会問題研究会、書道研究会、地理研究会、鉄道研究会、フォークソング

近年の主な実績

【中等科】

卓球部	東京都私立大会準優勝(2013) 東京都大会出場(2009～2022) 東京都大会ベスト8(2011)
水泳部	東京都大会5位(2016・自由形リレー)
バスケットボール部	東京都中学校バスケットボール大会3位(2002) 関東中学校バスケットボール大会出場(2002) 東京都私立大会3位(2013)
野球部	東京都私立中学校大会優勝(2019) 東京都大会出場(2023)
陸上競技部	全国大会出場(2008・2016・2019) 関東大会出場(2006～2010・2016) 東京都私立大会準優勝(2014・2016)・3位(2017) 東京都大会・入賞(2001～2016・2021)・優勝(2016)・準優勝(2020)
硬式テニス部	全国大会出場(2005・団体 2018・団体) ブロック大会優勝(2014・2016・2019) 関東大会出場(2003～2005・2007・2008・2018～2020)
ラグビー部	東京都大会1部入賞 関東大会出場(2016)
バレーボール部	東京都大会出場(2009～2011)
サッカー部	東京都大会ベスト16(2009・2022) 私学関東大会出場(2009・2012) 東京都大会出場(2012・2013・2021) 東京都私立大会準優勝(2012)
剣道部	東京都大会出場(2005～2008・2010～2016・2019・2021～2022) ブロック大会優勝(2006)
柔道部	東京都大会出場(2022)
音楽部	東京都高等学校吹奏楽コンクール B編成の部 金賞(2010・2015)・銀賞(2017)・銅賞(2021)
写真部	東京都高等学校協会写真展 会長賞(2012) タムロン鉄道風景コンテスト 佳作(2012) 私学展 入賞(2014)
美術部	私立中学高等学校生徒写真・美術展 特選(2014)
囲碁将棋部	関東中学校囲碁選手権団体戦 選手権戦7位(2016) Aクラス優勝(2009・2010・2012)・5位(2015・2017)・6位(2014) 文部科学大臣杯中学校囲碁団体戦全国大会出場(2018) 東京都囲碁大会第3位(2023)
生物部	東京生物クラブ連盟「生物研究の集い」表彰(2021・2022)
地学部	第63回生徳理科研究発表会表彰(2023)

【高等科】

アーチェリー部	全国大会出場(2011・2013・2021)／関東大会出場(2009～2013・2016)／関東大会5位(2015) 関東選抜大会 個人出場(2021) その他の年度にも複数出場経験あり
硬式野球部	全国高等学校野球選手権大会東東京大会 ベスト16(2015) 春季東京都高等学校野球大会出場(2018) 秋季東京都高等学校野球大会出場(2017・2019) 全国大会出場経験あり／関東大会出場(2007～2009・2012・2018) 関東大会東京都予選出場(2017・2020) 全国総体東京都予選東京都大会出場(2017・2019) 全国高校サッカー選手権大会東京都二次予選出場(2016 Aブロック ベスト8・2017・2019)
ゴルフ部	全国大会出場(2011・2022)／関東大会出場(2008・2010・2011・2013・2014・2019～2024)／インターハイ出場(2014・2021・2023・2024)／選抜スキー大会出場(2014)／国体出場(2014)
サッカー部	全国大会出場経験あり／関東選抜大会出場(2019・2023) 東日本夏季競漕大会優勝(2021)／全国高校総体個人ベスト32(2022) 東京都私立中学高等学校テニス大会国体の部 5位(2017・2019・2022・2023)・3位(2021・2023)／東京都大会団体戦(秋)10位(2018)・5位(2023)・東京都大会個人の部4位(2022)・8位(2023)／東京都大会新人戦個人8位(2018・2021)
スキー部	全国私学テニス選手権シングルス16位(2021)・24位(2022) 全国私学大会東京予選団体の部6位(2021)・5位(2022)
漕艇部	第8回全日本高校生自馬選手権大会 馬場馬術第3課目A決勝：第2位、馬場馬術選手権：第3位(2023) 第34回全日本高等学校馬術選手権大会出場(2023) 第66回関東高等学校馬術選手権大会出場(2023) 第59回関東高等学校自馬競技大会 第3競技 馬場馬術1課目2022：優勝、第2位、第4競技 馬場馬術競技2課目B2022：第5位、第11競技ジムカーナ競技：第4位、第14競技 小障害90競技：第8位(2023)
テニス部	全国総体出場 ベスト16(2017)／関東大会出場経験あり 全国総体出場(2017・2021)同ベスト16(2017)
馬術部	東京都大会出場 4×100mR(2017)・走高跳出場(2022) 全国高校総体(三重)出場 走高跳(2018) 東京都新人大会出場 砲丸投(2022)・走幅跳(2023) 東京私立中学高等学校生徒美術展入選(2019) 東京私立高等学校生徒美術展奨励賞(2021)
ホッケー部	東京都高等学校吹奏楽コンクール B編成の部 金賞(2010・2015)・銀賞(2014・2017) 全国書道展 心正堂賞(2013)
陸上競技部	全日本書初め大観覧会 日本武道館賞(2012・2013) 高円宮杯 大会奨励賞(2013) 第55回記念高野山読書大会 弘法大師賞(2021) 全国書道書道伝統文化大会 総合の部 伝統文化賞(2023) 東京都囲碁大会 16位(2015・2016)
美術部	
吹奏楽部	
書道研究会	
囲碁将棋同好会	

生徒の声



中等科 3年
野球部主将
渡邊 悠生

学習院中等科には運動部、文化部、同好会の全部で26個の豊富な部活があります。それぞれの部活が、同じ目標に向かって日々練習をしたり、同じ趣味や興味を持つもの同士が集まり楽しく活動をしています。僕が主将を務める野球部では、週4日、28名の部員で活動を行っています。活動場所は平日には第二グラウンドを使い土日には大学の野球場をお借りして活動を行っています。活動では顧問の先生やOBのコーチの方々、大学生のコーチの方々から様々なアドバイスをもらっています。初めて野球をする人でも大歓迎です！実際、野球部でも中学生になるまでに野球をやった経験がない人でも部活に参加して練習をすることで上手になり試合に出ている人も沢山います。このスポーツをしたことがないから上手に出来ないと思っている人がいるかもしれませんが練習をしないと上手くなることはできません。また、中学生になってから新しいスポーツを始める人は一人だけではなく、沢山います。今までにやったことのないスポーツでもおもしろそうだなとかやってみたいなとか興味を持ったら是非挑戦してみてください。中等科には野球部以外にもサッカー部、テニス部、地学部など多くの部活があり兼部も可能です。先輩との交流やチームワークを鍛えるなど部活動に入らなければできなかった経験が沢山あります。

是非、興味を持った部活があれば参加してほしいと思います。皆さんと学習院で会える日を楽しみにしています。



高等科 3年
高等科硬式野球部主将
齋藤 佑士

皆さんこんにちは、高等科硬式野球部主将の齋藤です。現在硬式野球部は3年生12人、2年生9人の計21人で活動しています。活動日は月曜日以外の週6日、活動場所としては主に学習院の野球場で、週末には練習試合のために遠征をしたりもします。平日の練習では主にピッチングマシンを使用したバット練習や守備練習、ウェイトトレーニングに取り組み、週末は他校との練習試合を行います。学習院高等科硬式野球部のアピールポイントとしてまず挙げられるのは環境が整っていることです。活動場所の野球場は全面果実土で、ブルペンも完備する、とても良いグラウンドで、東京23区内でここまで広く、整ったグラウンドを学校敷地内に備えている高校は珍しく、授業終了後すぐに練習に取り組み、野球に集中できる環境が整っているというのは学習院硬式野球部の最大の強みだと思います。2つ目のアピールポイントとしては選手間や選手―監督間の距離が近いことが挙げられます。学習院は部員数が、多い年でも3学年合わせて30人ほどで決まて多くはありません。そのため、必然的に先輩後輩間の距離も近くなります。また監督とも毎週野球ノートを交換し、野球技術についてはもちろん、様々な相談に乗ってもらえます。

高校野球は決して楽なスポーツではありませんが学習院高等科には、それを共に乗り越える仲間、親身になってサポートして下さる指導者がいます。学習院高等科硬式野球部に入れば1年までの2年半が濃く充実したものとなり、一生の仲間ができます。

高校野球がしたい、充実した高校生ライフを送りたい、仲間を作りたいと思っている人は大歓迎します！皆さんと会える日を楽しみにしています！

国際交流

留学制度や国際交流について

中等科ではニュージーランド短期研修、高等科では協定留学制度と公認留学制度を設けるなど、海外で学びたいと希望する生徒を支援しています。また国際交流を支援する団体の要請によって、毎年5名程度の外国人留学生を高等科が受け入れています。留学生向けの特別授業のほか一般の授業、行事にも参加し、日本語や日本文化を学び、また高等科生とともに学校生活を楽しくしています。



協定留学*

米国メリーランド州ボルチモアにある私立学校 St. Paul's School との留学協定を結んでいます。高等科から St. Paul's School へは最大 2 名が 1 年間派遣されます。また St. Paul's School から高等科へは、最大 2 名が 4 カ月滞在中です。

公認留学*

所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則 1 年間留学する制度です。帰国後、留学の成果が認定されれば、留学の単位として 30 単位を与えて留学期間の学年を修了したものとみなし、出国時の学年より一つ上の学年に編入が認められます。

*協定留学プログラムおよび公認留学については、下記ホームページを参照 <https://www.gakushuin.ac.jp/bsh/education/international/index.html>

学習院は、世界に羽ばたく生徒たちの未来を応援します

語学教育センターの特別プログラム

学習院では、女子大学の語学教育センターが中心になって、小・中・高・大学の垣根をはずし、レベル別・目的別の英語学習支援を行っています。

■英語力養成コース

通年で、「聴く・話す」力を伸ばします。留学準備コースやTOEIC・TOEFL対策コースも設置。

■イングリッシュ・セミナー

夏休み中の集中講座。12のレベル別のクラスが用意されています。

留学派遣生支援プログラム（中・高等科）

協定校 St. Paul's School から招聘した教員によるワークショップやアカデミック

スキル養成プログラムがあります。留学予定の生徒の留学準備を支援するとともに、留学から帰国した生徒のさらなるスキルアップを行っています。

帰国子弟入試（中等科）

1980年度より、海外からの帰国者および帰国予定者を対象に一般の入試とは別の選考で帰国子弟入試を行っています。海外での貴重な体験を有し、特長のある生徒が毎年約15名入学しています。

ニュージーランド短期研修（中等科）

中等科2年生の希望者を対象に、9泊10日の海外短期研修を行っています。ホームステイをしながら現地の中学校で実際の授業を受けます。

プナハウススクール・サマープログラム（高等科）

3年ごとに開催されるハワイのプナハウススクール主催の国際交流プログラム（SGLI）。世界各国から集まった高校生達とグローバルな問題について議論を重ねます。通年で課題に取り組み、夏には高等科から選抜された3名の生徒が、約2週間に渡るプナハウススクールでの研修に参加します。

その他

国際交流支援団体が行う短期プログラムやオンライン交流会なども紹介し、多くの高等科生が自主的に参加しています。

St. Paul's School セント・ポールズ・スクール

アメリカ東部メリーランド州にあるセントポールズ校は通学制の私立学校で、その卒業生のほとんどが大学進学をめざしています。初等部が共学で、中等部、高等部は男女別の学校となります。800名の全学生のうち、約250名が高等部で学んでいます。学生数は1クラス18人以下で、教師1人当たりの生徒数は10人という少人数教育を実現させています。

セントポールズ校は1849年にボルチモアのセントポール教会の教区学校として設立され、現在はボルチモア郡郊外の、18世紀にブルグランド・プランテーションがあった歴史ある場所にそびえています。修復された本部棟に加え、蔵書2万8千冊を抱える3つの図書館、3つの体育館、2つの芸術センターと新しく建築された礼拝堂があります。



生徒の声



【公認留学】

2023年度高等科卒業
アメリカに留学
(2021年8月～2022年6月)
大内 聡太

私は、セントポールズ校協定留学を通じて、アメリカ、メリーランド州ボルチモアに10ヶ月間留学していました。留学を通して、「母国語ではない言語で人と通じ合う楽しさ」を学ぶことができました。特に留学して初めの方は、英語がうまく話せませんでした。が、身振り手振りを交え、友達ができたときはとても嬉しかったです。また、異なった文化の中で、異なった言語で、勉強し、生活することは、とても良い経験になりました。

学習院高等科の大きな強みとして、毎年20名前後の生徒が留学に出発していることが挙げられます。留学先で十分な成果を得たことが認められれば、留年せずに自分の学年へ進学できる制度があるので、協定留学に限らず、民間の留学団体を通じて、留学する生徒が多くいます。また、学習院では、他国からの留学生の受け入れもを行っている上、様々なワークショップもあるので、国際交流の場がたくさんあります。国際交流を通じて、目白から世界へ飛び立ちましょう。



【留学生】

フィンランド出身
(2023年9月～2024年7月)
オーツコネン・トゥオマス

交換留学生として高校でとても良い経験をさせていただきました。高等科はとてもアットホームな雰囲気で、新しい友達もたくさんできました。

ハイライトの一つは沖縄への修学旅行と北海道でのスキー研修旅行でした！また、文化祭では、私たち留学生は古典落語「寿限無寿限無」や能の舞を披露しました。

クラブ活動に参加したり、放課後友達と遊んだりしてとても楽しかったです。

私が困難に直面したときはいつでも、先生たちはすぐに私をサポートしてくれました。学習院高等学校での日々を振り返り、素晴らしい思い出と経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

進学

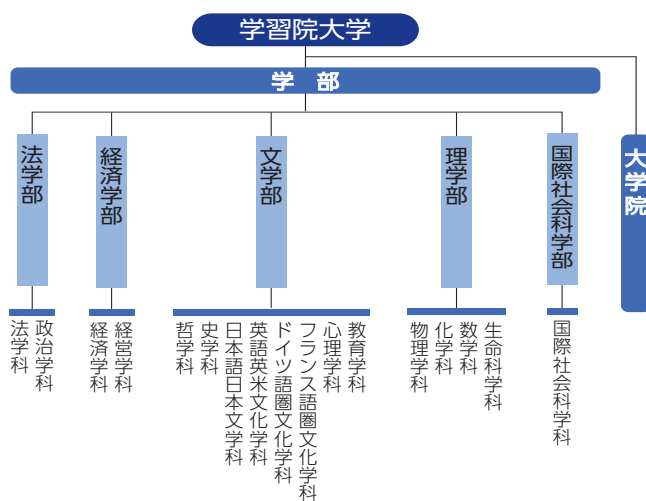
中等科・高等科の進学状況

進学においては、中等科・高等科ともに生徒が個性を伸ばし、目標とする進路に進めるように配慮しながら指導を行っています。基準を満たしたほとんどの中等科の卒業生は、高等科へ進学しています。高等科の卒業生は、学習院大学あるいは希望により他大学に進学します。学習院大へ進学した場合、ほぼすべての生徒に対して希望する学部・学科への道が拓かれています。

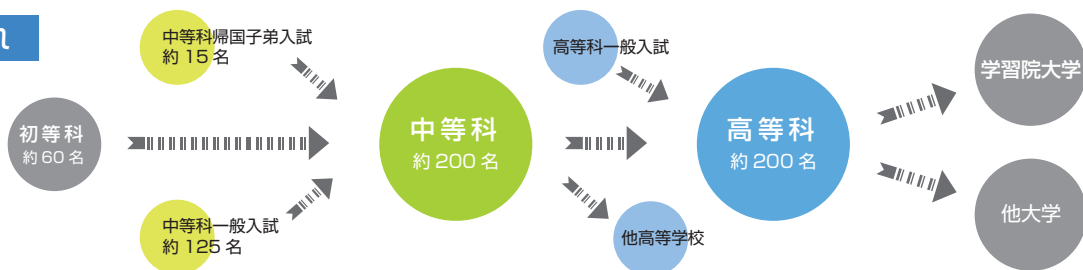
学習院大学

自ら学びとる意思と力をはぐくむ、5学部17学科

学習院大学は、4年間同じキャンパスに全学部全学科が設置されており、学年や学部により別々のキャンパスということはありません。各学部・学科とも、最先端の研究に携わり「その分野の第一人者」として社会から高い評価を得ている教員が行う、質の高い講義が展開されています。また、約7割の授業が1クラス40名以下の少人数制授業となっています。ゼミや演習なども多く、一人ひとりに目の行き届いた指導を受けることができます。



進学の流れ



生徒の声



上智大学 1 年
総合グローバル学部
阿部 壮真

皆さん「学校」という言葉から何を思い浮かべますか。学習院高等科は勉強だけではなく、主体的に行動する機会が多く与えられている場所です。

学習院高等科で学んだことで、私は自分自身に新たな価値観を高めることができました。それは一つの評価軸で他人を判断しないということです。学習院には多種多様な才能や個性を持った仲間達がたくさんいます。もちろん、その中で自分とは異なる判断基準を持つ人と出会うと思います。しかし、そこで拒絶するのではなく共存することで自分自身が行動を起こすための「刺激」に変えることができるのです。

高等科に進学してから、自分は新しい世界に進んで取り組む機会が増えました。国際交流の一環である SGLI プロジェクトに学校代表として参加し、海外の高校生とオンラインで議論を行いました。また、筑波大学附属高等学校とのスポーツ対抗戦である附属戦の実行委員長を二年間務めました。三年間を通して中夜祭でバンド活動にも取り組みました。これらの活動はどれも当初は未知の領域のものばかりでした。それでも進んで活動を行うことができたのは周りの友人たちと過ごした時間があったからだと思っています。

学習院高等科の校風は「自由」であると度々言われています。皆さんを待っている友人、先輩、そして先生方と共に充実した豊かな学校生活を作りあげてくれることを願ってやみません。



学習院大学 1 年
文学部
遠藤 隼平

学習院高等科はよく「自由な校風」と表現されますが、実際その通りです。先生は朗らかで優しい方々だし、課題が山積みという印象もないです。他の学校と比べてもやはり厳しくはないのだろうと実感しています。しかし、その「自由」というのはただ校則が緩いとか縛られることのないとかいう認識だけではないのです。私が3年間過ごして感じた学習院の自由さの中には、「心に余裕を持ちつつあらゆることに挑戦できる環境が整っている」という意味が大いに含まれていると考えます。つまり自由にほったらかしにされているがゆえに自分のやりたいことにまっすぐ突き進める、学校はそれを邪魔しないということです。

私の場合はバンドに熱を注ぎましたが、周りの同級生を見てもスポーツ、勉強、趣味、バイトなど十人十色様々なことに挑戦できています。これはのびのびと挑戦することを容れない校風あってこそだと私は思います。そしてさまざまなことに熱心に取り組んだ3年間を振り返ると本当に楽しいものでした。

あなたのやりたいことはなんですか？もしやりたいことがあるのなら学習院高等科には自由に挑戦するチャンスが転がっていると約束します。あなたの将来への素晴らしい土壌となる3年間を期待しています。

大学	学部	人数
慶應義塾大学	商	2
	法	1
	理工	2
東京理科大学	経営	1
	工	1
	創域理工	1
	理	2
上智大学	総合グローバル	1
	法	2
早稲田大学	先進理工	1
	創造理工	1
	基幹理工	1
中央大学	法	2
桜美林大学	航空マネジメント	1
関東学院大学	経済	1
城西大学	薬	1
東京歯科大学	歯	1
日本大学	歯	1
日本歯科大学	生命歯	1
合計		24

2024 年 国公立大学合格実績
※推薦含む

国公立大学（総人数）	学部	現役	浪人
千葉大学（2）	工	0	1
	法政経	0	1
東京藝術大学（2）	音楽	1	0
	美術	0	1
東北大学（2）	工	2	0
北海道大学（2）	薬	0	1
	文	1	0
愛媛大学（1）	理	1	0
大阪大学（1）	理	0	1
群馬大学（1）	医	0	1
東京工業大学（1）	生命理工	0	1
防衛大学（1）	人文社会科	0	1

2024 年 私立大学合格実績 ※推薦含む							
私立大学（総人数）				私立大学（総人数）			
学部		現役	浪人	学部		現役	浪人
慶應義塾大学（24）	経済	3	1	芝浦工業大学（4）	工	3	0
	商	4	1		建築	1	0
	文	3	0	東京農業大学（4）		農	1
	法	3	0		生命科	2	0
	理工	4	1		地域環境科	1	0
	総合政策	3	0	杏林大学（3）	医	0	2
	環境情報	1	0		総合政策	1	0
中央大学（13）	文	1	0	東京工科大学（3）	工	2	0
	法	5	3		応用生物	1	0
	理工	2	2	桜美林大学（2）	航空マネジメント	1	0
東京理科大学（11）	経営	1	1		リベラルアーツ	1	0
	工	2	0	近畿大学（2）	医	0	1
	理	2	0		生物	0	1
	創域理工	2	2	成蹊大学（2）	法	1	0
	理学部第一	0	1		理工	1	0
明治大学（11）	経営	1	0	東京薬科大学（2）	薬	0	2
	商	0	1	東洋大学（2）	法	0	1
	政治経済	3	0		理工	1	0
	法	1	3	武蔵野大学（2）	経営	0	1
	理工	1	1		データサイエンス	0	1
上智大学（10）	外国語	1	1	立教大学（2）	経営	1	0
	経済	4	0		現代心理	1	0
	法	2	0	岡山理科大学（1）	生物地球	1	0
	総合グローバル	2	0	神奈川大学（1）	工	1	0
早稲田大学（10）	基幹理工	0	1	金沢医科大学（1）	医	0	1
	商	1	0	川崎医科大学（1）	医	0	1
	政治経済	1	0	関東学院大学（1）	経済	1	0
	文	0	1	北里大学（1）	医	0	1
	文化構想	0	1	工学院大学（1）	情報	1	0
	理工	3	0	埼玉医科大学（1）	医	0	1
	人間科	1	1	城西大学（1）	薬	1	0
青山学院大学（9）	経済	1	0	昭和薬科大学（1）	薬	0	1
	理工	1	2	大東文化大学（1）	文	1	0
	国際政治経済	0	1	拓殖大学（1）	政経	1	0
	社会情報	1	0	帝京大学（1）	医	1	0
	国際経済	1	0	東海大学（1）	医	0	1
	総合文化政策	0	1	東京国際工科専門職大学(1)	工科	1	0
	コミュニティ人間科	0	1	東京歯科大学（1）	歯	1	0
学習院大学（6）	経済	1	0	同志社大学（1）	政策	0	1
	文	1	0	東邦大学（1）	医	0	1
	法	1	0	日本大学（1）	歯	1	0
	理	1	0	日本歯科大学（1）	生命歯	1	0
	国際社会科	2	0	明治学院大学（1）	法	1	0
法政大学（6）	経済	0	2	明治薬科大学（1）	薬	0	1
	法	0	2				
	デザイン工	1	0				
	情報科	1	0				
千葉工業大学（5）	工	0	2				
	先進工	0	1				
	未来変革	0	1				
	創造工	0	1				

海外大学		現役
St. Thomas Aquinas College		1

(2024.4.4現在)

連携・Q&A

生徒と教職員と家庭の連携／学習院 Q&A

多感な中・高6年間。常に生徒たちの心を育て、ケアをする体制が整っています。



主管室

クラス担任を「主管」と呼び、各学年のホームルーム教室のすぐそばに学年の主管の部屋「主管室」があります。ここが学年ごとの教員室となります。大教員室とは別に、各階に分かれる学年ごとの主管室を設置することにより、きめ細かくすばやい生徒への対応を可能にしています。

たとえば、いじめというような陰湿な行為が起きたとしましょう。その場合でも、早期に発見し、主管を中心にして、他の教員も一緒になって解決法を考えることができます。

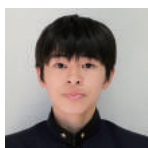
各学年の主管は、自分のクラスだけを担当するのではなく、学年の主管がチームとなって学年全体を担当する体制をとっています。普段の学校生活における人間関係や学業、進路などの相談に乗り、生徒一人ひとりの個性を尊重した指導をしています。



▲放課後の主管室の様子



生徒の声



中等科 3年
生徒会長
今井 陽大

学習院中等科の特徴は何といってもその環境です。山手線目白駅から徒歩 0 分という通学しやすい好立地にありながら、木々が生え、四季を感じることができる自然豊かなキャンパスの中で都市の喧騒を感じずに学校生活に集中することができます。この学校は都心の真ん中にありながらそれを感じさせないほど広くて自然豊かな環境が揃っています。大学や幼稚園とも併設しているため、人工芝と土のグラウンドが合わせて二つに体育館と室内温水プール、野球場やテニスコートなどの施設が充実しています。これを活用して体を動かしたり、活発な部活動で自分の好きなスポーツを楽しむことができます。

中等科は男子校です。男子校では女子の目を気にしない分過ごしやすく、好きなことに集中できます。また個性豊かな気の置けない友達とも出会うことができ、広い学校で伸び伸びと好きなように楽しく三年間を過ごすことができます。校則が厳しいといわれることもありますが、入学してみると意外と校則の厳しさを感じることはありません。学習面ではベテランのユニークな先生が楽しく興味を持てるように工夫して指導してください。授業では専門的な内容も扱いますが、先生方にわかりやすく教えていただけます。多くの生徒がそのまま高等科に進学するため、学習にも余裕があり趣味や部活動など自分の好きなことに時間が使えます。これも中等科の大きな魅力です。

中等科に入学すれば、緑豊かで広大なキャンパスの中で伸び伸びと充実した毎日を過ごすことができます。ぜひ、学習院中等科で楽しい三年間を過ごしてみませんか。



高等科 3年
総務委員長
佐々木 伊織

学習院高等科は、単純に設備に恵まれていると言えます。屋内の温水プールに人工芝の多目的グラウンド、ジム、大容量の図書室、ニッチな所で申し上げますと授業で稀に使用する地下の標本室などが挙げられます。因みに僕個人としては、僕が野球部に所属しているということもあり、敷地内にかなりレベルの高い野球場があることが一番印象的でした。また校則も制服に関連すること以外は殆どなく、高校生一人一人の自主性や個性が尊重されています。

このように、のびのびとした高校生活を送るには十分過ぎるほどの環境に囲まれていると言える学習院高等科ですが、言ってしまうとそのブランドが故に、「中等科から上がってきた人たち、何か鼻持ちならぬさう……」という感じのイメージをご入学前の方々が持っていたら、ということが多々ある気が致します。事実、僕も高等科からの入学でしたので、そのような思いは入学前は少なからずありました。しかしそれはただの思い過ごしであったということ、入学してすぐに思い知らされました。そこには、「自分のことは自分で決める」というリベラルな校風を最大限活かして、誰とでも分け隔てなく接し、かつ各々の将来に向けて前に進まんとする姿勢の人しかいなかったからです。そこで僕は、「成程、これなら僕も成長できそうだ」と思い、同級生と互いに切磋琢磨し、今に至ります。

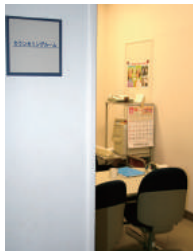
繰り返しにはなりますが、学習院高等科は数ある高校の中でも本当に恵まれている方だと断言できるので、皆さんも是非ご入学されましたら、この環境をフル活用して新しい自分を見つけ、目一杯高校生活を堪能して青春の1ページを彩りましょう！

カウンセリングルーム

学習院中等科・高等科では2000年度にカウンセリングルームが設置されました。臨床心理士の資格を有するカウンセラーが生徒や保護者の相談にあたっています。

場所は校舎1階場所です。カウンセリングの予約は保健室で受けています。利用される方のプライバシーには十分配慮しています。

カウンセリングルームでの基本的な対応は、カウンセラーと利用される方との個別面接ですが、必要に応じて利用される方の了解を得たうえで教職員や学外の専門医療機関との連携をとって対応しています。



家庭



保護者会

各学年の初めに、各クラスから3名の幹事を選出します。クラス幹事は、クラス懇親会を企画したり、保護者から出された様々な問題を主管と話し合うなど、学校と家庭とのパイプ役を担っています。

学校生活や行事について、学校からの連絡を伝える学年の保護者会が各学期にあります。

また、主管と日常生活や学業などについて話し合う保護者面談が、年に2回あります。



▲学年保護者会の様子(501・502教室)

学習院 Q & A

学校説明会や保護者面談などの場で、保護者のみなさまから質問されることが多々あります。

ここでは、その中から代表的な質問・疑問にお答えします。

Q 学習院初等科出身者と中等科入学者との人間関係は？ 保護者の場合は？

A 中等科に入学してから初等科出身者とうまくやっていけるかという不安を持つようですが、「その心配は全くなかった」というのが聞いた限りの在校生すべての答えでした。教員も全く区別を意識したことはありません。むしろ初等科出身者は6年間付き合ってきた友達にさらに新しい友達ができることを楽しみにしているようです。クラブ活動、宿泊行事などを通してすぐに親しくなっていくのが子供のようです。

保護者同士の場合は「入学前の心配がうそのようだった」というのが結論でした。「保護者懇親会、試合の応援などを通して仲良くなり、学習院の情報をいろいろと得られる」また、初等科出身の保護者にとっては「受験経験の話がとても参考になる」ということでした。

Q 公認留学制度について教えてください

A 公認留学とは、所定の申請に基づいて外国の高等学校へ原則1年間留学する制度です。留学の成果が十分に上がったと認定されれば、留学の単位として30単位を与えて留学期間の学年を修了したものとし、出国時の学年より一つ上の学年に編入が認められます。また、留学支援団体の要請によって、毎年3～4名の外国人留学生を高等科が受け入れています。留学生向けの特別授業のほか一般の授業、行事にも参加し、日本語や日本文化を学び、また高等科生とともに学校生活を楽しんでいます。

Q 公表された納付金以外に必要な費用が多くかかりますか？

A クラブ活動費(合宿参加費用など)が、また中等科では希望者参加の「臨海学校」、「スキー学校」(東北自然体験)「ニュージーランド研修」の費用が、それぞれ参加される場合にのみ追加されると考えてください。全員参加の行事費用などは全て納付金に含まれています。

Q 生徒の通学圏について教えてください

A 都内はもちろん神奈川県、千葉県、埼玉県などの隣接する諸県から通学する生徒も多くいます。時には宇都宮や小田原から通う生徒もいますが、通学に要する時間はだいたい片道1時間程度の人が多いようです。

Q 不登校はありますか？ また、その場合はどのように対応をとっていますか？

A 不登校は残念ながら皆無というわけではありません。一人一人が異なった問題を抱え、同じ理由によるものではありません。しかし保護者の方とも十分話し合い、カウンセラーにも適切なアドバイスをおおぎながら、その生徒にとって最善の道を教員全員で考える体制をとっています。

INFORMATION 2025年度

2025年度学校説明会など／中等科・高等科のホームページ

2025年度 中等科・高等科の学校説明会・試験・公開行事

中等科

■授業体験会

2024年5月11日(土) 14:00～

■学校説明会① (一般／創立百周年記念会館)

2024年6月8日(土) 14:00～

※説明会後に校内見学ができます。

■学校説明会② (一般、帰国子弟／創立百周年記念会館)

2024年7月13日(土) 一般 14:00～ 帰国 14:40～

※説明会前にクラブ体験会があります。 ※説明会後に校内見学ができます。

■入試説明会 (一般、主に6年生対象／創立百周年記念会館)

2024年11月9日(土) 14:00～

※説明会後に校内見学ができます。 ※帰国子弟対象の入試説明会はありません。

❖帰国子弟入学試験

2024年12月4日(水)

❖一般入学試験

第1回 2025年2月2日(日)

第2回 2025年2月3日(月)

高等科

■学校説明会 (一般／創立百周年記念会館)

2024年10月5日(土) 14:00～

※詳細は高等科ホームページでご案内いたします。 ※学校見学も行います。

❖一般入学試験

2025年2月14日(金)

公開行事

■中等科クラブ体験会 (中・高等科校舎、体育館、グラウンドなど)

2024年7月13日(土) 10:00～

■中等科運動会 (中・高等科第1グラウンド)

2024年9月28日(土) 雨天時は9月29日(日)に延期

■中・高等科鳳櫻祭(文化祭) (中・高等科校舎、体育館など)

2024年11月2日(土)、11月3日(日)

※入試個別説明コーナーがあります。

説明会・公開行事はWebでの参加予約が必要です。

日程は変更になる場合があります。

ホームページにて最新の情報をご確認ください。

学習院 中等科・高等科のホームページ

学習院中等科・高等科の教育内容については、学校法人・学習院のホームページからご覧になれます。
掲載しきれなかった Q&A コーナーをはじめ、多彩なコーナーを設けてありますのでご参照ください。
<https://www.gakushuin.ac.jp>



中等科 HP ▶



高等科 HP ▶





学習院 中等科
高等科

〒171-0031 東京都豊島区目白 1-5-1
TEL 03 (5992) 1032
<https://www.gakushuin.ac.jp/>